中村慶子さん



山崎哲さん



浅野慎· (当会世話人代表)



チンイさん(二胡奏者)

としてどのように生きてこられたか、 は 中 围 一残留婦 世 0 方をお招きして、 その思いをお話しいただきます。 中国 残留婦 人である祖母につい

今回

世

24 年 度 中国残留邦 \mathcal{O} 深める集

2

O

:神戸市 (委託団体・ 中国 「残留日本人孤児」 を支援する兵庫の会

2024年11月23日13:00開演 神戸市立東灘区文化センターうはらホール

プログラム

『中国残留婦人三世として生きる』

- ・中村慶子さん、山崎哲さんによるお話し
- 鼎談

中村慶子さん×山崎哲さん×浅野慎一(当会世話人代表)

アトラクション

二胡奏者チンイさんによる二胡ミニコンサート

【お願い】

・天候等の状況により中止する場合、断りなく内容を変更する 場合がありますのでご了承ください

住吉駅

JR 線

六甲アイランド線



東灘区民文化センター

【会場アクセス】(国道2号線北沿い)

JR神戸線・六甲ライナー:「住吉駅」下車南側へ徒 歩約2分(改札口から連絡通路あり)

市バス 33・35・37・38・39 系統、阪神バス:「住吉駅前」 東灘区民文化センターには駐車場はございません。 【お問い合わせ先】

中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会 〒658-0003

神戸市東灘区本山北町3丁目4-9甲南ビラ201号 ☎ 090-8539-7021 (水野)



中村慶子さん (中国名 劉芳 - リュウ ファン)

1972年、中国遼寧省(りょうねいしょう)生まれ。祖母が中国残留婦人。1985年9月に来日。明石の小学校5年生に編入。小中学校では、言葉が通じず、通訳等のサポートが全くなかったため、学校に居場所がなく、不安で孤独な日々を過ごす。劣等感に押しつぶされながらの高校受験。兵庫県立明石南高校へ進学する。親友や理解ある恩師との出会いで、卒業式の日に自分のルーツをクラス全員にカミングアウトする。信州大学人文学部へ入学。卒業後、京都府宇治市の公立中学校の「日本語教室」で講師として約10年間、同じ中国にルーツを持つ生徒たちを教える為に教壇に立つ。その後、中国大連に約2年間帰国し、再び明石へ。教員採用試験に挑戦し、教師になる夢を叶える。現在は兵庫県立の特別支援学校の教員として勤務。中国人の夫と高校に通う二人の娘と暮らしている。自分自身のことを書いた記録「私の半世紀~二つの国に生きて~」が第48回部落解放文学賞を受賞した。



山崎哲さん

1985 年東京都生まれの中国残留婦人三世。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程在籍。これまで、主に中国残留孤児・婦人の三世・四世に話を伺って研究を行っている。「中国残留邦人等の体験と労苦を伝える『戦後世代の語り部』」(厚生労働省事業)の一人としても活動している。NHK ETV 特集「わたしは誰 我是誰~中国残留邦人 3 世の問いかけ」(2018 年 9 月放送)に出演。論文に「「見えにくいマイノリティ」の移動をめぐる内的世界を照らすー中国帰国者三・四世のライフヒストリーを手がかりに一」『異文化間教育』(59) など。



浅野慎一(当会代表世話人)

神戸市出身、1956年生まれ。

摂南大学現代社会学部学部長・特任教授。神戸大学名誉教授。

中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会・世話人代表。

主な著書として『中国残留日本人孤児の研究』御茶の水書房、『異国の父母:中国残留孤児を育てた養父母の群像』岩波書店など。

HP:「尊厳ある和解を求めて」http://dignity-reconciliation.jp/



チンイさん (アトラクション・二胡演奏)

JCM 民族楽団副団長 二胡奏者

中国浙江省に生まれ。13 歳より、叔父に二胡を習い始める。湖州少年楽団に入団し、演奏活動に取り組む。2003 年9月湖州師範大学音楽学院演技専攻に入学。張飛龍教授に師事し、本格的な音楽教育と二胡演奏訓練を受けた。在学中、中央テレビ「心連心」芸術団に2回ほど参加し、中国各地で演奏してきた。2006 年、浙江省青少年民族楽器コンクール3位受賞。また、地元の大きなイベント「湖筆節」をはじめ、音楽イベントに多数出演し、高い評価を受けている。2008 年9月に来日、様々な演奏活動を行い、日本の新聞やテレビにも取り上げられ、日中の文化交流に貢献している。2014 年大阪府立大学大学院を修了。2020 年にアジア国際音楽コンクールで最優秀指導者を受賞。堺東と高槻で二胡教室を主宰。